



# 第88回全国理事会開く

平和と労働センター 2016.2/6  
-2/7

## ☆ 各地から活動の主な発言 ☆

### ・神奈川

被爆70年、NPTが終わって、この結果が昨年末の国連総会にも影響し、核兵器廃絶が新たなステージに入った。「戦争法」の廃止については、2000万署名と同時に国民的世論の結集を求められている。

今までに原潜の寄港が915回。メンテナンス修理、放射性廃棄物の排出。原潜(2炉)と原子力空母(2炉)の同時入港も。

### ・新婦人

これからの日本を変えるのは私たちです。税金を戦争をするために使うのではなく、子どもの貧困対策に使って。レッド・アクションでは、成人式や高校門前で行動。

### ・静岡

浜岡4号機の安全審査が4月に終わる。再稼働反対署名第一次分として17万筆を提出。

### ・京都(被爆二世)

核兵器を法的枠組みで廃絶を求めます。被爆者援護をどのようにするか、またそのための地域ネットワーク作りが重要。

## ※ 今年のみなさんの平和行進・活動の参考にお役立てください。

### ・山口

「核兵器廃絶」新署名は、連合や自治体とも一緒にやれるような内容にしてほしい。

### ・第五福竜丸展示館

来館者数が減っている。かつては14、5万人/年だったが、今では10万人に満たない。福竜丸被災者が労災認定になるよう働きかけている。また、県レベルで当時の資料が残っている可能性もある。

### ・長野

昨年、結成60年を迎え国際政治を動かすようになってきた。この運動を次世代へ引き継ぐことが重要。「原水禁」との垣根を越えることが、被爆者の願いに応える道。

### ・兵庫

世界大会前に、原爆展を全自治体で開いた。

### ・佐賀

「高校生は、署名に関わっていけない」と学校から言われていた。

### ・長崎

市議会が「平和の誓い」を公募。

### ・個人理事

スウェーデンの「いかなる状況でも廃絶。」に核保有国は一致団結し反対。では、「どういう状況なら人類の役に立つのか？」の問いに無言。

## 2015年の平和行進のまとめ

### ☆ 平和行進について(茨城) ☆

- ・「戦争法」反対として取り組まれた。参加者は3,358人。
- ・NPT再検討会議NY行動の報告も併せて行った。
- ・沿道で高校生などから声をかけられ、後進に参加してきた。
- ・行進に茨城コープ生活協同組合から参加があった。
- ・城里町で町内を初めて行進を行った。
- ・福島からの引き継ぎ集会、県庁前集会、百里基地集会を重視し、取り組んだ。
- ・非核宣言自治体数が43(全44)自治体に。

### ☆ 平和行進について(全国では) ☆

- ・9条の会や「戦争法」反対で連帯が広がった団体・個人などへ、行動への賛同、参加を大きく広げることが求められる。併せて行進の形態(沿道へのアピール、シュプレヒコール、コールなども含め)の大胆かつ斬新な検討が必要。(岩手)
- ・地元の青年の作った「青年リレーたすき」は好評だった。(新潟)
- ・例年に比べ、参加者がどのコースも多くなり、6,840人に。沿道募金、アピール署名、5万羽を超える折り鶴。愛西市での前議員の署名提出。(新潟)
- ・地元の青年の作った「青年リレーたすき」は好評だった。(新潟)
- ・ビキニ、NPTや行進参加者がふえ、原水爆禁止世界大会の参加者が倍以上に。(滋賀)
- ・行進中の7月15日、「戦争法」強行採決にあたり、高取山(相生市・赤穂市の境)山頂で抗議集会となる。(兵庫)

## まとめ

私たちの草の根の活動が、国際情勢を動かしてきた。

世界は被爆者の声を求めている。核兵器廃絶の緊急性を疑う者は、被爆者の声を聴くべき。被爆者とともに核兵器の非人道性を訴えていくことにより、この運動をいっそう強めていく必要がある。

また、日本が「核抑止=核脅迫」に固執し、依然としてアメリカの核の傘の下にあるため、戦争法の廃止に向けての運動を広げ、基本を離さずに条約交渉開始に向けて働きかけていく必要がある。

2016年の出発点として、ビキニデーの成功を目指しましょう。

(安井：日本原水協事務局長)



2015年の平和行進・東京-広島コース

## ☆ 茨城県原水協からのお願い ☆

— 原水爆禁止世界大会広島大会の参加者決定を —

2016年3月1日ビキニデーが幕を閉じました。全国から多くの仲間が集まり、一日目の2月29日に約800人、二日目の久保山愛吉氏の墓参行進には1500人、ビキニ集会には約2000人の参加がありました。ビキニ被災は原水禁運動の原点です。

ビキニデーを皮切りに平和行進、そして原水爆禁止世界大会へと繋いでいき、NPT参加の核保有国も約束済みの「核兵器全面禁止」への交渉開始を一日も早く実現させましょう。それを可能にするのも、ここまでのどり着いたのも、「草の根」の私たちの力です。ここまで世界を動かしてきたのも、私たちの運動です。ここに確信をもって、進んでいこうではありませんか。

● 各地域から、ひとりでも多くの代表を世界大会に送り出して下さい。なお、今年は広島大会がメインです。50名を目標にしています。宿泊を確保する困難から4月中に代表を決定し、県原水協に登録してください。

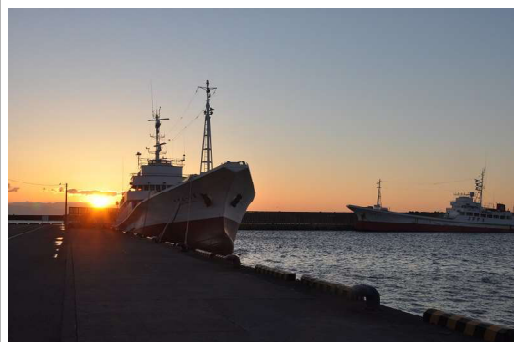
● 平和行進のコース実行委員会は3月中に開催し、コース責任者、任務分担などを相談してください。ご協力をお願いします。

## 編集後記

先月、原水協の「全国理事会」に出席。各地の報告をたっぷり聞いてきました。

茨城での平和都市宣言自治体は、全44のうち43にまで進みました。これも平和委員会・新婦人会員・九条の会の皆さんやそのほか大勢の方々に負うところが大きいと思います。「戦後70年」を過ぎ、「アベすぎる」今をどうやって正常にしていくかが問われます。

「2,000万署名」も残された期間はわずか。原発廃炉の「1,000万署名」もあります。次々に再稼働を狙う自公政権は、危険極まりない。心を広く持ち、連帯して引導を渡しましょう！



夜明けの焼津港